

お願い

☆学校の下の通路を子ども達が登校する時間帯に、車で学校をいっしょの方へ、申し訳ありませんが、できるだけ体育館前からおいでいただきますよう、お願いいたします。

1学期、ありがとうございました！

一学期が終わりました。四月から、保護者・地域の皆様には大変お世話になりました。子ども達の成長と課題について、一緒に喜んだり、まだまだだなあと首を振ったり・共に考えてくださっていることを感じ、ありがたく思っています。一学期の成長と課題を少しだけあげてみます。

☆成長

○朝読書の始まりがそろそろようになった。(着替えをしても間に合う・準備のできた子から読書を始めるなど)

○授業に集中できる子が増えてきた(私語・出歩きの減ってきた)

○廊下を走る子が少なくなった(やりなおしが少し徹底してきた)

☆課題

○聞くことがまだ徹底できていない

○あいさつができない子がいる(声が小さいのも深刻な課題です)

○乱暴な言葉がまだある(冷静に振り返るとわかるのですが・・・)

ずいぶん成長もみられます。

夏休み中に、教職員でじっくり話し合い、二学期からの対策を考えます。担任は、子ども達に

通知表を渡しながら、成長を喜び、課題を自覚して一緒に取り組もうという気持ちをお願いします。

夏休み、地域で子どもを見かけられることも多くなります。

また、祭りやラジオ体操など、地域とのふれあいも多くなります。

どうか、声をかけてやってください。

あいさつについては特に、心と心をつなぐものとして、さらに力を入れて指導していきたいと思えます。

どうぞ、地域全体でご指導よろしくお願ひいたします。

二学期に、元気に子ども達と会えることを楽しみにしています。

地域コーナー～お世話になっています

地域の皆様には、いつもたいへんお世話になっております。学習でもいろいろ関わっていただいています。地域での活動で一つうれしいことがあります。

「多根の郷だより」に、上多根神楽の皆さんが「子ども神楽教室」の指導をしていらっしやるのが書いてありました。その中に、伝統行事の継承だけではなく、しつけ向上の取組もしておられるということが載っていました。これはまさしく地域で子どもを育てることだと思いました。「しつけ」「ふるまい」などは、家庭でも学校でも行っていることですが、それだけでは身につかせん。やはり地域の大人が、子どもと関わる様々な機会を教えること、身についていくと思えます。

ちなみに、神楽では、「聞くこと」の指導をしていただいたようです。神楽なので、座って黙って話を聞くことを教えていただいたそうです。六月の学校だよりでお伝えした「聞き方名人」と通じるものがありますね。聞くことは、相手を大事にする第一歩だと思います。

波多・入間・多根地区では、先日、通学入宿が行われました。このような取組の中でも、子ども同士の関わりだけでなく、大人との関わりの中で学ぶことはたくさんあったと思います。中には家から離れて寂しくなった子もいたようですが、スタッフの方によりそって話を聞いてもらっていました。また、友達と一緒に食事を作ったり寝たりする経験は、何にも代えがたいものになったことでしょうか。ここでも、上の子が下の子をかかわるよすががあらわれていました。

スタッフの皆様にはたいへんお世話になりました。子ども達には、お世話になった方々に感謝の気持ちを持ち、それを言動にあらわすことの大切さを感じてほしいと思いました。

校舎の紹介



そうじ名人

- ① ちこくをしないでそうじ場所に行く
 - ② だまってしんけんにそうじをする
 - ③ 時間いっぱいそうじをする
- の3つが守れたら「そうじ名人」として☆がもらえます。1ヶ月ごとに評価します。1学期は、72人の人が名人になりました。

校内の7月の様子を紹介します。



読書の木

6月にお知らせした読書の木。花が3つだけでしたが、もう21の花が咲きました。10冊読むと黄色の花、20冊でピンクの花です。20個のうち、ピンクは3つです。夏もいい本をたくさん読んでほしいと思います。



永井隆博士コーナー

永井隆平和賞の季節が今年もやってきました。永井博士の平和への願いを受け取って、友達や家族等について考え、作文に表します。全校で取り組んでいます。子どもが、友達のことや優しい心について考えることは、本当に必要なことと思えます。

聞き方名人(初級・中級)再び紹介!

聞き方名人(初級)

- 1 いちど手をおく
- 2 体をむける
- 3 終わりまで聞く

聞き方名人(中級)

- 1 いちど手をおき体をむける
- 2 うなずきながら
- 3 終わりまで聞く

地域の皆様、子どもと話す機会があったら、「あなたは、聞き方名人?」と聞いてやってください。そして、初級からでっこのので、ご指導くださるとありがたいです。

花のコンテスト

保護司の皆様から、ソーラーLEDキーホルダーをいただきました。ありがとうございました。

一人一鉢で育てている花がきれいに咲きました。学級ごとに写真を撮り、コンテストをしました。どの学級もすてきな写真ができましたので、それぞれに賞があります。終業式の前に表彰してもらいます。お世話は環境委員会です。また、育てた花を1年生は掛合交流センター、わかば・やまびこ学級と2年生は掛合分校においていただくことにしました。みんなで育てた花が地域の皆様の心を明るくするといいなという願いをこめています。ありがとうございました。また、校内では、6年生が体育館、4年生が渡り廊下、5年生が中庭においていますので、学校にいらっしやったら、ご覧ください。安食厚様から、またマリーゴールドの苗をいただきました。ありがとうございました。



苗うえボランティアさんが、マリーゴールドなどの秋の花を植えています。またがんばって育てて、学校をきれいにします。



分校の高校生さんへ緊張しながら渡しています。教室の窓辺に飾ってくださっています。



掛合交流センターの玄関にきれいに飾っていただきました。



☆6月の保健室来校数
6月に何らかのけがや体の不調で保健室に来た人は、全校でのべ152人でした。

お話ボックス

毎週水曜日のお昼の放送「校長先生とMさんとAさんのお話ボックス」の時間の紹介です。

○永井隆博士の話

永井博士は、長崎大学で放射線を使う研究や仕事をしておられたので、体が白血病という病気になっていましたが、長崎に原子爆弾というおそろしい爆弾が落とされて、ますます命が危ない状態になりました。爆弾が落とされた後、たくさんの方が火傷で病院に運ばれてきて、その人達を助けようとして治療を続け、自分も病気が進んで動けなくなりました。

博士は、二人の子どもを残して亡くなってしまいました。永井博士が残された言葉に、「如己愛人」という言葉があります。これは、己のごとく人を愛せよ、つまり自分を大事にするように、人を大事にしなさいということです。

みんなは自分が一番大切ですよ。それから、友達を大事にしているでしょう。家族を大事にしているでしょう。一番大事なのは自分だけ、その一番大事な自分と同じくらい友達や家族を大事にしなさいという言葉です。なかなか人を自分くらい大事にできません。でも、人に優しくしたり親切にしたりすることはよくしているはず。どうしたら人を大切にできるかなと考えてみることは、いいことですね。

6年生ありがとう集会

7月11日に、1年生主催の「6年生ありがとう集会」がありました。1年生と6年生がペアになってゲームをしたりおやつを食べたりして楽しい時間を過ごしました。

6年生は、ひざに1年生をすっぽりのせて、かわいくて仕方ないという様子です。1年生も6年生にゲームの仕方を説明する時には緊張気味でしたが、6年生がきちんと聞いてくれるので安心して楽しむことができました。お互いにとって、いい活動だったと思います。思いやる気持ちがさらにぐんぐん育つようにと思います。



高学年 太鼓練習たけなわ

高学年は、えびす祭りに向けて太鼓の練習をしています。5年生は初めての体験ですが、勢いのある太鼓がび

ったりはまって、なかなかの上達ぶりです。6年生は昨年経験しているので、思い出しながら練習しています。

堀江様に指導していただいています。お手本にたたいてもらいながら、見てまねて練習です。

小さいときから太鼓に慣れているせいも、とてもカッコいい姿だと思います。夏休みに何回か練習して、本番に臨みます。掛合ならではの体験を大事にしてほしいと思います。



PTAバレー吉田・掛合交流会

雲南市PTAバレーボール大会（9月）の前に、吉田地区と掛合地区のバレー交流会がありました。吉田の連合チーム、掛合中学校チーム、掛合小学校チームの3チームがリーグ戦で試合をしました。

はじめに、掛合小学校の安井副会長からのあいさつがありましたが、その言葉にあったとおり、どのチームも、けがもなくチームワーク抜群で和気あいあいと試合を楽しみました。結果は、下の通り掛合小学校は2勝し、安定した強さを見せました。

①	掛中	掛小	②	吉田連合	掛中
	13	— 15		16	— 14
	10	— 15		15	— 10
②	掛小	吉田連合	選手の皆様、お疲れ様でした。大会まで暑い夏を乗り切ってがんばりましょう。		
	15	— 4			
	15	— 13			

PTA保体部の皆様はじめ、役員の皆様にもお世話になっています。

七夕のわかい

7月の掲示は、七夕です。短冊にいろいろな願いがありました。

- 算数のけいさんができますように
- わらびもちがいっぱいたべられますように
- いい子になりたい
- 習字がしょうずになりたい

など、いろいろな願いがありました。このほかにバレー、ドッジ、野球などのスポ少でいい成績をとりたいという願いがたくさんありました。願いがかなうように、がんばってほしいですね。



わかば・やまびこ学級、中学校との交流



わかば・やまびこ学級は、ささまき作りで中学生さんと交流しました。その後お手紙が届きました。

「ささまきのつくりかたはわかりましたか？楽しかったね。また、作ろうね。」

「みんなといっしょにできて、楽しかったよ。またいっしょにつくろうね。」

というような、優しさにあふれたお手紙でした。

児童会のエコキャップ・プルタブ集め

玄関に児童会の総務委員会が呼びかけているエコキャップとプルタブを集める箱が置いてあります。

エコキャップを集めると、世界の子供達にワクチンを届けることができ、プルタブは車いすになるそうです。ただ、たくさんたくさん集めなくてはなりません。子供達は少しずつ持ってきては入れています。

3月の終わりまでの取組です。時々のは、
「たくさんになったね」
「家の人にビール飲んでもらおう。」
などと、話している子もいました。

エコキャップとプルタブに分けて入れます。

ほほえみタイム

毎週金曜日の「ほほえみタイム」

には、地域の皆さんに各学級で読み聞かせをしていただいています。

長年来ていただいているので、子ども達の様子も一目瞭然です。終わった後で校長室で少しの間おしゃべりします。

「あの子は、この頃よく聞くようになりましたね」

「この学級は反応が大きくてうれしいです」

「今日はちょっと落ち着かなかったですね」

など、ありのままの感想を言ってもらえるので、うれしく思っています。一緒に子ども達を育てていただいている感じがいいのです。学級のちょっとした変化も、気づいてくださっています。



メダカとツバメの話3

校長室では、赤ちゃんメダカが増え、水そうの中は保育所のようににぎやかです。少し大きくなったのも別の水そうで泳いでいます。

ところが、お腹がぐんぐん大きくなるのにいっこうに卵が生まれず、どこまでもふくらむお腹をもてあましているメダカが1匹います。重そうに泳いでいるので子ども達は心配して、早くお腹の中から卵が出てきて軽くなってほしいと願っています。

ツバメは、巣立ちました。その瞬間を見ることができず、残念でしたが、また帰ってくるかなと見えていますと、大人のツバメが巣のとなりにまた土を運んでいました。今からまた巣作り？

それから、ミヤマクワガタのオスが1匹います。これは低学年の人気者で、つかんで持ち運んでは喜んでいきます。

各学級でもクワガタは人気者で、子ども達が持って来ています。

さなぎからチョウへ変身!

3年生が理科で育てていたモンシロチョウがついに成虫になって飛んでいきました。

窓ガラスにとまっていたサナギはもぬけのからになっていました。かわりに中庭には白いチョウガひらひら飛び、子ども達が見つめていました。



学校をあげて、「永井隆平和賞」の作文作成に向けてがんばっています。担当の教員からうれしい話を聞きました。「学校の子供達全員に、平和や戦争ということだけではなく、友達や家族、そして自分のことについて考えてほしかったので、全校に呼びかけ、平和のコーナーも作って永井隆博士に関連した本をおきました。子ども達が書いた作文を読んだら、博士のこと以外にも、自分を振り返って、いいところやまだ直さなくてはいけないところなどをよく考えた作文がたくさんあって、本当に書かせてよかったと思いました。」担任の先生達の取組にも感謝します。